

選んだのは、土間のサーマスラブとの組み合わせ

自然豊かな環境で暮らす喜び のんびりが、本当にいいね

北海道長沼町・S邸 家族構成／夫婦30代、子ども1人
設計／トロッコ級建築士事務所 施工／大平洋建業(株)





下川産のカラマツを薫煙処理して外装材に使用



薪ストーブのある暮らしを楽しんでいるSさんご家族。小上がりは、大人が腰掛けるのにちょうど高さ。下は物入れになっていて便利

- 北海道長沼町・Sさん宅
- 構造規模/木造・2階建て
- 延床面積/132.08㎡(約39坪)
- 使用機種/ドブレ「640CB」
- ストーブ導入費用/約80万円(本体、煙突、炉壁、施工費用含む)

施工/大平洋建業(株)
 TEL 011-584-3071
 北海道札幌市豊平区西岡4条14丁目2-13
<http://www.t-kengyo.com/>
 対応エリア:道央・石狩地方(札幌市、江別市、石狩市、岩見沢市、恵庭市、小樽市、北広島市、千歳市、長沼町及びこれら近郊)

設計/トロココー級建築士事務所
 北海道札幌市西区小別沢33
<http://studio1065.com>
 E-mail info@studio1065.com

またこの住宅は1000棟以上の北方型住宅の中から、わずか10軒だけが受賞した「第2回北方型住宅賞奨励賞」に選ばれており、その高い評価からも安心して相談できるビルダーだということがわかります。もちろんSさん宅のような薪ストーブを導入した施工実績もたくさんあります。

今回のSさんの家づくりでも道産のカラマツが多用され、薪ストーブのぬくもりにも視覚的な暖かさがプラスされています。

なだらかな傾斜地の一角には白樺林。街の喧騒とは無縁の、おだやかな風景が広がる長沼の田園地帯。小鳥たちのさえずりに心なごみ「こんなところで、のんびり子育てできたら」と、Sさんご夫妻のイメージはふくらみました。その後、まるでそこに住むことが以前から決まっていたかのように話はスムーズに展開し、今は自然と対話しながら丁寧に家族の時間を重ねています。

Sさん宅は勾配のある土地形状を生かしたプラン。1階は奥さんが焼くパン工房と店舗、納戸、回遊性のある居住空間と、3つの床レベルを持つ構成です。玄関からフラットに土間へ通じ、その土間は床下蓄熱型のサーマスラブという暖房方式。季節に応じて床暖房と薪ストーブをうまく使い分けています。ストープ周辺のレンガは自分たちで積んだそう。リビングに大きな開口部を設けているので冬の時期は雪原を見渡すことができ、外の白い世界とは対照的に室内では勢いよく薪が燃え、炎が鮮やかな色を放ちます。

設計事務所を通じて大平洋建業を知ったSさん。高断熱・高气密にこだわった取り組みが信頼できると思ったこと、さらに、日頃から自然素材を積極的に取り入れる姿勢にも好感を持ったそうです。

右/本を読んだり、宿題をしたり、家族それぞれが自由に使う「みんなの机」を2階に
 左/青森ヒバの香りを楽しみ、長沼ならではの名水を沸かすお風呂は最高の贅沢



右/玄関から土間へ。道産小麦を使ってパンを焼いている
 中右/カラマツフローリングの小上がりと、土間に薪ストーブのあるリビング。吹き抜け空間が気持ちいい
 中左/パン工房とリビングとの中間地点に位置するキッチン
 左/リビング階段から2階へ

